

ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

ゴールデンウィークで公園はにぎわうと思いますが、一層気を引き締めて過ごしましょう。感染を拡大させない取り組みをすすめましょう。



公園入口の花壇、いろんな花がいっぱい咲いています。この花壇運営には全面的にボランティアの方々の活動で維持されています。感謝。



イチョウ並木とメタセコイアが公園の若葉の季節を感じさせてくれます。真ん中にある高床式の花壇が増えました。新しい景色が生まれそうです。

コウチュウたち

昆虫の分類の中で、甲虫の仲間はバラエティーに富んでいます。代表的なカブトムシ・クワガタからこれって甲虫?と思うゾウムシなど、図鑑の中では一番ページ数が多いです。



ヒメクロオトシブミ



ウスチャコガネ



ヒメスナゴミシダマシ



ヨツモンクロツツハムシ

オトシブミ 葉っぱを巧みに巻物のように細工し、その中に卵を産み付けてる。

ウスチャコガネ コガネムシは夏の暑い時期の虫のイメージですが、この種は春から初夏までとあります。

ヒメスナゴミシダマシ ダマシとつく名は似ているということ、ここではゴミシに似ているとなる。このゴミシダマシにも多くの種がある

ヨツモンクロツツハムシ ハムシも種類が多いです。その柄の多さからテントウムシを思い出します。テントウムシも甲虫です

いっぱいいるので見つけようと思えば沢山出会えるはず。甲虫独特の飛び方も面白い。このオトシブミなんかはコバエが飛んでいるようにふんわり飛びます。

アゲハチョウやタテハチョウの仲間もよく見かけるようになりました。



アオスジアゲハ

←アオスジアゲハ。蛍光色ばい水色はこの種独特なもので見分けるのは容易です。動きはすばやく採取しにくい。

コミスジ→ 翅をあまりばたかせずにグライダーのように飛び回ります。ヨコ三本線をイメージできますか。名前の由来です。一本タイプはイチモンジチョウ





ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

新型コロナウイルスの脅威は公園という野外の空間であっても逃れることはできません。みなさんの積極的な対策行動が安心・安全なロクハ公園を作ります。

命をつなぐ花



植物を見分けるのには、葉っぱを観察するのが一番いいそうです。花期は短いからどうしても花や実を追いかけます。目立つし匂を感じるかもしれません。この花も見れば見るほど不思議がいっぱい。それを見ていくだけで満腹になるし、多くを見逃しているのを知ります。



モミジバフウ



ヒメコウソ



イヌビワ



クワ

モミジバフウ ブドウ状に丸い房が重なっているのが雄花で、そこから出た花粉が下の丸い雌花に受粉して実になっていきます
ヒメコウソ 上にある球体で赤い毛が出ているのが雌花で、下の雄花の花粉で受粉します。オレンジ色のキイチゴのような実ができます。
イヌビワ イチジクそのものですね。イヌイチジクにならなかったのは実の大きさがビワ程度だからでしょうか。この実自体が花です。
クワ クワの実は粒々がいっぱい集まった実です。白く出ているのはそれぞれの雌しべの柱頭でしょうか。雄花にあたるものに会ってないのです。



ハルジオン



ハルジオンがいっぱい。

ハルジオン（春紫苑）と書き、ヒメジオン（姫女苑）と記す2種はそっくりです。

ハルジオンが先にさきはじめ5月いっぱい、後発のヒメジオンは冬が来るまで咲きます。5月ぐらいが混じっているのどちらかなとよく迷います。ハルジオンの葉っぱは茎を包むようにつきます。ヒメジオンは葉っぱに柄があるような感じです。

トンボをよく見かけるようになりました

眼がひっついて、いない



オグマサナエ

今の時期、よく現れるとしてサナエトンボの仲間がいます。早苗の時期に出て来るトンボ群です。ロクハ公園では4種ぐらい出会えると思います。小さめでよく似ているので見分けにくい。シオカラトンボも飛び始めました。こちらのほうが大きいです。



シオカラトンボ



ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

「さくらはどうだ」という心配をする季節はひとまず終わりました。学校・園の入学式もおわり新しい年度のスタート。ソメイヨシノの開花時には、ま新しい制服とランドセルを背負った子どもたちの「前撮り」が多く見られました。春爛漫をむかえますが、コロナウィルス感染症への対策はますます重要になっています。野外の公園の利用でも十分に気をつけましょう

シロチョウ（モンシロチョウの仲間）



モンシロチョウ



モンキチョウ



キタキチョウ



ツマキチョウ♂

春の蝶の代表選手、モンシロチョウですが、この仲間をシロチョウといいます。白いちょうと黄色いちょうがいることを多くの人が知っています。ロクハ公園では、今の季節4種類を見ることができます。4種類といってもツマキチョウは今期初めて確認した次第です。今まで見落としていたのかわかったのか確認できません。花にとまっていると簡単に見分けがつくのですが、ひらひらと飛んでいるのを見分けるには、目に焼き付けていくしかありません。吸蜜するときは特徴的な翅の裏側の様子で見分けられます。



ツマキチョウ♀

飛んでいるときは黄色と白の区分けぐらいでわかりにくいです。なおかつ、ツマキチョウのメスは黄色い特徴がありません。モンキチョウのメスには白いタイプがいます。



モンキチョウ♀

シジミチョウ



こちらはシジミチョウ、今の時期この5種類をよく観察できます。シロチョウよりもぐっと小さいのでじっくり見ないと種類かわからないです。写真を撮り拡大してみると何の種かわかります。



コツバメ



ツバメシジミ



ルリシジミ



ベニシジミ



クラギンナシ

まだいます

ロクハ公園にやってきて、秋から冬にかけてすごし春になると移動する鳥たちがいます。日中は見かけにくくなりましたが、早朝の多目的広場に下の三種がまだたくさん見られました。移動する日を見分けたいと思いますが、難しいですね。

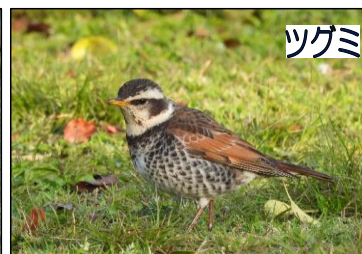
頭の白化が目印に個体を識別できる珍しい例です。3年連続で公園に来ているのが確認されています。まもなく見られなくなると思いますが、来冬出会うことを楽しみにしています。ロクハのRをつけシロハラRとネーミングしました。」勝手に



シロハラR



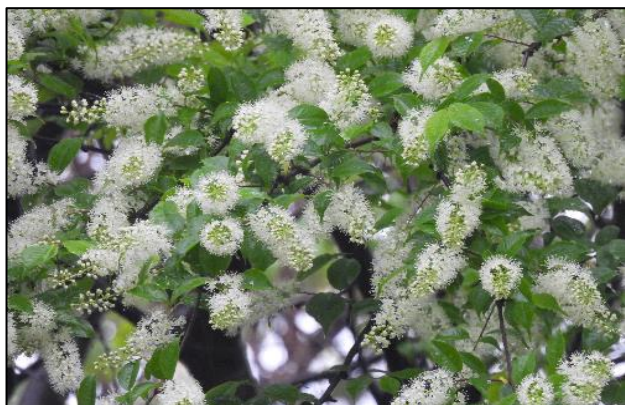
アオジ



ツグミ

ロクハの自然

桜最終章



ウワミズザクラ



御衣黄桜

今年は平年より早くに始まった桜シーズンです。感染症対策を講じてのお花見は2年続きになったことは残念ですが工夫した楽しみ方をされているように思います。ソメイヨシノの期間はピークを過ぎどんどん散っていきます。その間2週にわたり週末の雨でした。ロクハ公園のサクラ群は最終章です。サトザクラと表記される八重咲のサクラ（スポーツ広場の御衣黄桜を含）が満開になります。木肌や葉っぱは桜だけど、花の着き方が全く違うウワミズザクラも見逃せません。木々の中で忘れられがちなヤマザクラも。

<http://www.park-698.net/news/?id=887#>



堇・スミレ 野草としてのスミレいろいろなタイプがありますさがしてみましよう



タンポポ2種+1

花の下の緑いろの部分が
反り繰り返ってないか。
シロバナタンポポも見ら
れます



ニホンタンポポ

セイヨウタンポポ

シロバナタンポポ

facebook「ロクハ自然」を中心にロクハ公園内で出合えるいろいろな自然事象を紹介しています。新しく週刊を目指し「ロクハの自然」というタイトルで新聞のように「発行します。毎日の記事の再掲やその季節に合った特集内容のものを考えています。ロクハ公園を訪れる材料にしてください。またロクハ公園の思い出ぐらすものにしてください。HPにはPDFファイルとしてダウンロードできます。facebookには画像ファイルとして置きます。

facebook「ロクハ自然」 www.facebook.com/rokuhapark/

ロクハ公園HP www.park-698.net/

ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>